

# 令和6年度 授業計画書（シラバス）

分野	専門分野			開講時期	3年前期・後期	
授業科目名	看護の統合と実践			単位数	1単位	
	看護の統合Ⅲ 緩和ケア			時間数	30時間	
講師名	平野 拓司	所属	岩手県立磐井病院		資格・免許	医師
		職名	緩和医療科長			
講師名	千葉 恵	所属	国保藤沢病院		資格・免許	看護師免許
		職名	緩和ケア認定看護師			
講師名	松浦真由美	所属	岩手県立磐井病院		資格・免許	看護師免許
		職名	緩和ケア認定看護師			
講師名	熊谷 由美	所属	岩手県立一関高等看護学院		資格・免許	看護師免許
		職名	専任教員			
事前学習内容						
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく						
科目全体のねらい						
緩和ケアに関する基本的な知識を理解し、患者・家族の苦痛へのアプローチ、Quality of Lifeの向上について考える						
教育目標との関連						
(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。						
(4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。						
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。						
(6) 科学的根拠に基づき、健康状態や生活の場に応じた看護を実践することができる。						
(7) 社会の特性を理解し、保健・医療・福祉チームの中で、多職種と連携・協働し、対象が希望する地域で、その人らしく、より良く生きることを支援できる。						
科目目標						
緩和ケアの現状と展望を理解する						
緩和ケアにおけるチームアプローチを理解する						
緩和ケアにおける倫理的課題を理解する						
緩和ケアにおけるコミュニケーションを理解する						
全人的ケアの実践を理解する						
家族のケアを理解する						
臨死期のケアを理解し実施する						
回	授業内容				講師	方法
1	緩和ケアの歴史・理念・現状・展望				平野	講義
2	緩和ケアにおけるチームアプローチ				松浦	講義
3	緩和ケアにおけるコミュニケーション				松浦	講義
4	生命倫理・緩和ケアをめぐる倫理的課題				松浦	講義
5	緩和ケアにおける意思決定支援				松浦	講義
6	全人的ケアの実践①（身体的・精神的・社会的・スピリチュアルケア）				千葉	講義
7	全人的ケアの実践②（身体的・精神的・社会的・スピリチュアルケア）				千葉	講義
8	全人的ケアの実践③（身体的・精神的・社会的・スピリチュアルケア）				千葉	講義
9	家族のケア、医療スタッフのケア				千葉	講義演習
10	臨死期のケア（グリーフケア）				千葉	講義演習
11	事例検討①				熊谷（由）	講義演習
12	事例検討②				熊谷（由）	演習
13	事例検討③				熊谷（由）	演習
14	事例検討④				熊谷（由）	演習
15	事例検討⑤ まとめ				熊谷（由）	演習
受講上の注意					評価方法	
					筆記試験70点 レポート30点	
使用するテキスト						
系統看護学講座 別巻 緩和ケア（医学書院）						
参考文献						
成人看護学 緩和・ターミナルケア看護論第2版（ヌーヴェルヒロカワ）						